

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 彰 副会長：仲田 廣志 幹事：大塚 博巳 副幹事：池ノ谷 敏正



【梅の花】

写真提供：鈴木舜光君

第1940回

- ソング 我等の生業・我が藤枝ロータリー
- ソングリーダー 杉山静一君



【2011-2012年度 RIテーマ】
 こころの中を見つめよう
 博愛を広げるために
 カルヤン・パナルジー

会長報告

青島 彰君

3月9日、藤枝南RCを訪問し創立記念例会への登録をお願いしてきました。藤枝南RCは昨年度には創立20周年を迎え記念事業、式典、祝宴を予定していましたが東日本大震災の発生と共に全国的に祝い事に対する自粛ムードにより式典等の縮小を余儀なくされました。お互いの周年年度には30万円の予算を組み交流を図ってきました。当クラブも記念式典等には出席をしていないことから南クラブに対しては無理のない範囲での登録をしていただけるように伴野会長をお願いしてきました。

3月13日、北村藤枝市長に記念シンポジウム、式典等の出席依頼をしてきました。事前をお願いをしていましたが、本人より返事を頂いてホッとしています。

本日は記念事業の第2弾として藤枝駅前広場のベンチの寄贈を行いました。桜色の御影石製の六角形ベンチは駅前広場の利用者には喜ばれることと思います。3月24日には記念事業第3弾として「はやぶさの挑戦」と題した小中学生を対象にした記念講演が予定されています。クラブメンバーは全員参加をお願いします。

◎ロータリー財団寄付表彰

ベネファクター
 1000 \$ 寄付
 青島 克郎君



幹事報告

大塚 博巳君

- 第2620地区より、地区協議会の案内が届いております。
- 第2620地区より、ロータリー米山奨学会よりお知らせが届いております。
- 白山RCより、「創立45周年記念を祝う会」参加のお礼が届いております。
- 社会福祉法人ハルモニアより、ウェルフェア塾実施報告書が届いております。
- 事務局より、IM参加者へ、例会後FAXにて集合時間・場所を連絡します。
- 事務局より、次年度クラブ会員名簿の原稿を回覧するので、各自確認をお願いします。

出席報告

小西 啓一君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
32 / 44 72.27%	37 / 44 84.01%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

石割君 酒井君 櫻井君 杉浦君
 松葉隆君 松葉義君 水野君 萩田君
 江崎晴君 落合君 玉木君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

青島 彰君(藤枝南) 松葉 隆夫君(藤枝南)
 松葉 義之君(静岡北・静岡南)
 鈴木 廣利君(静岡北・静岡南)

ビジター

鈴木 徹君(藤枝南)

●世界で初めての「足こぎ車いす」を紹介いたします。脳梗塞の後遺症で片側半身が完全にマヒされた方でも両足でペダルを漕いで、健常者の早足程度の速さで走行できるリハビリ用トレーニング車イスです。本年2月5日に、NHK TV番組「サキどり」で放映されてから大反響となり、取扱い代理店として愛知県・岐阜県・三重県をはじめ山梨県まで走り回っています。

来る3月19日(月)午後8:00 NHK番組「サキどり」にて第2弾とし放映されます。是非ご覧ください。 大塚 博巳君

スマイル累計金額 169,970円

外部卓話

焼津信用金庫

渡辺 茂紀様



BCP(事業継続計画)とは

- Business Continuity Plan (BCP)
- 企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

事業継続計画の基本方針

《指示》とある表は、拡大して貼り出しておくとい良いでしょう。 少なくとも毎年見直しします。 会社名を記入 記入要領

東海地震に対する事業継続計画(年度) 会社名: _____

経営者自身の言葉で記入します。欄内は記入所です。

【様式ア】東海地震に対する事業継続基本方針(指示)

区分	記入欄
従業員・家族の安全と安心を守る	東海地震発生時、事業所内で応急処置をしない。 従業員が被災したら、会社としてもできる限り支援する。
顧客の信用を守る	東海地震に関連する情報発表時及び発生時の事業継続について、あらかじめ顧客と共通目標を持っておく。 発生時、顧客と迅速・密着に連絡を取り、目標復旧時間達成に努める。 東海地震発生後も、従業員自身の雇用を守る。
従業員の雇用を守る	

静岡県地震防災センター又は浜松市

被害想定

中核事業と目標復旧時間の設定

【様式イ】東海地震の被害想定(事業所ごとで作成) (指示)

項目	震度	液化化	津波	土砂災害
内容	震度(6強)	危険度(中)	浸水域(はい) 来襲(14)分後 浸水深(0~0.5)m	危険箇所(いいえ)

注: 静岡県第3次地震被害想定結果に基づき記入。

静岡県地震防災センター又は浜松市のホームページで調べるなどして、()内を記入します。

経営上、最優先すべき事業を記入します。複数ある場合は2の欄にも記入します。 目標復旧時間は現時点の目標を記入します。(可能な場合は顧客をはじめ取引先とあらかじめ協議します。)

【様式ウ】中核事業と目標復旧時間

	中核事業①	中核事業②
中核事業 (最優先で復旧する事業)	・〇〇自動車向け〇〇部品の製造	
目標復旧時間 (東海地震発生時)	・東海地震発生1か月後に完全復旧	

事前対策の整備計画

該当する場合にチェックの上、対策不要か対策済みならばチェックします。

【様式オ】事前対策の整備計画

該当	対策	必要資金 (百万円)	対策が必要な場合	
			資金調手法	実施年 (予定)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 事業所建物の耐震診断	済み	←	←
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 事業所建物の耐震強化	30	←	2006年
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 事業所の防火対策	済み	←	←
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 津波避難場所の確保	済み	←	←
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 機械設備等の転倒防止	5	←	2007年
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 原材料・器具等の落下防止	済み	←	←
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> コンピュータシステムのバックアップ	1	←	2006年
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 自家用発電機の導入	済み	←	←
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 応急時連絡施設の整備	0.5	←	2007年
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 緊急時連絡施設の整備	現時点不要	←	←
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 防災倉庫の整備	現時点不要	←	←
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 地震保険の加入	現時点不要	←	←

代替策

通常、使用している施設や取引している会社等の連絡先(電話・メール)を記入します。

通常の施設や取引先が利用できない場合の代替策の種類と連絡先を記入します。

【様式コ】連絡先と代替策の連絡先

区分	項目	連絡先(連絡先)	代替策(種別と連絡先)
顧客	納品先①	〇〇自動車 000-00-0000 xxx@xxx.co.jp	〇〇自動車 〇〇加工所 〇〇加工所
	納品先②	〇〇メーカー 000-00-0000 xxx@xxx.co.jp	〇〇メーカー 〇〇加工所 〇〇加工所
協力会社	工程分業等①	〇〇製作所 000-00-0000 xxx@xxx.co.jp	〇〇製作所 〇〇加工所 〇〇加工所
	工程分業等②	〇〇加工所 000-00-0000 xxx@xxx.co.jp	〇〇加工所 〇〇加工所 〇〇加工所
事業所	連絡拠点	〇〇中心通入先 00-00-0000 xxx@xxx.co.jp	〇〇中心通入先 〇〇中心通入先 〇〇中心通入先
	生産施設	〇〇組合 〇〇組合 〇〇組合	〇〇組合 〇〇組合 〇〇組合
役員	役員	〇〇役員 〇〇役員 〇〇役員	〇〇役員 〇〇役員 〇〇役員
生産設備	機械等	〇〇機械 〇〇機械 〇〇機械	〇〇機械 〇〇機械 〇〇機械
原材料	鋼材等	〇〇鋼材 〇〇鋼材 〇〇鋼材	〇〇鋼材 〇〇鋼材 〇〇鋼材

保証制度の概要

激甚災害保証制度(無担保8千万円)

- 資格要件
 - 「BCP」を策定している中小企業者
 - 策定は以下のBCPに則した準拠した形態で
 - 中小企業庁「中小企業BCP策定運用指針」
 - 静岡県「事業継続モデルプラン第1版・第2版」
- 有効期限 … 事前内定通知発送日より1年
- 保証内容 … 激甚災害保証制度要綱による
- 提出書類 … BCP/信用保証委託申込書/決算書等
- 更新方法 … 更新したBCPを添付し再度申込

BCP策定にあたって重要なこと
担当者として感じたこと

- 基本となるのは自社の現状分析
 - 自社の経営情報が整理できる
- 中核事業を確認
 - 事業や業務の見直すきっかけ 経営革新
 - 戦略的な経営判断が重要
- まずは作ってみる、そして更新
 - 出来る範囲でOK
 - 完璧を求めない。更新すればいい。



ダス・プロタープ君

ご卒業おめでとうございます

3月13日静岡産業大学の卒業式がグランシップで行われ、米山記念奨学生ダス、プロタープ君と出席いたしました。プロタープ君は、特別表彰を受賞されました。



(特別表彰者は8名)

40周年記念事業
藤枝駅前広場ベンチ寄贈除幕式





(担当 / 鈴木邦君)